**市政トピックス**

**●平成30年4月の小学校統合に向けて岩出山地域で準備委員会を設立**

岩出山地域の小学校5校を統合し、平成30年4月に新しい小学校として開校するため、保護者や地域住民による「岩出山地域小学校統合準備委員会」が設立されました。

　岩出山地域では、平成元年に1416人いた児童数が、平成28年は462人と3割程度に減少しており、4つの小学校で、異なる学年が一つの教室で学ぶ複式学級が行われています。今後も児童数減少が見込まれるため、教育委員会と保護者が「子どもたちに望ましい教育環境」を目指して話し合いを進めてきました。「学校がなくなると寂しいが、子どもたちのことを考えると避けては通れない問題」、「複式学級が行われている現状では、統合はやむを得ない」などの意見が多くを占め、統合に向けた準備を進めていくことになりました。

　今後は、教育計画の具体的内容のほか、保護者組織やスクールバスの運行経路などの話し合いを進め、子どもたちの交流も深めていきます。

写真1：小学5年生の交流（トヨタ工場見学）

写真2：小学1年生の交流（荒雄公園遠足）

**●年末年始の被害から地域を守る**

12月7日、市民会館で「大崎市安全・安心まちづくり大会」と「年末年始特別警戒出動式」が開催され、関係機関・団体の皆さんが、「犯罪や事故・暴力行為のない、安全で安心して暮らし続けられるまち、おおさき」を目指し、地域安全運動を推進することを確認し合いました。

　大崎市は、刑法犯認知件数が減少傾向にありますが、県内で3番目に多い件数となっています。また、市内では架空請求詐欺の被害が増えており、特殊詐欺被害全体の半数を超えています。さらに、冬季は一年の中でも交通事故の件数が多くなる傾向にあります。

　年末年始は旅行やあいさつ回りなどで留守にすることも多くなります。皆さんも、事件や事故に巻き込まれないよう安全安心に気を配り、年末年始を楽しく過ごしましょう。

写真：寸劇で交通安全を呼びかける

写真：地域を守るため、約60団体700人が年末年始特別警戒に出動

**●2016　12月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 4日 | ●大崎市誕生10周年記念  　事業「ミュージカル『クリスマス・キャロル』」  ●鳴子ダム選奨土木遺産認定記念式典 |
| 5日 | ●大崎市平和事業「小・中学生平和作文コンクール」表彰式 |
| 7日 | ●大崎市安全・安心まちづくり大会、年末年始特別警戒出動式 |
| 8日 | ●大崎市議会第4回定例会（～22日） |
| 11日 | ●第12回宮城菱取り唄全国大会 |
| 14日 | ●世界かんがい施設遺産登録証伝達式（東京都） |
| 15日 | ●年末年始特別警戒「安全・安心まちづくり」合同キャンペーン開始式 |
| 17日 | ●放射性物質を含む汚染廃棄物の試験焼却に関する住民説明会（～18日） |
| 26日 | ●大崎水道サービス株式会社と「災害時における水道の応急活動の応援に関する協定」を締結 |
| 28日 | ●仕事納め |

写真：米・食味分析鑑定コンクール国際大会で金賞（全国第一位）を受賞した齊藤武康さん（中央）

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。

そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●三本木発　後世に伝えていきたい三本木の偉人**

後世に伝えていきたい三本木の偉人

　12月3日、市民や日本女子体育大学卒業生など約80人が出席し、「日本女子体育の母・二階堂トクヨ先生を顕彰する会」設立総会が、三本木総合支所ふれあいホールで開催されました。

　二階堂トクヨは現在の日本女子体育大学の創立者で、日本人女子初の五輪メダリスト人見絹枝を育てるなど、日本における女子体育の立役者です。

　会長に選ばれた元三本木町長の佐藤武一郎さんは、「地元三本木でも、二階堂先生の功績を知る人が少なくなってきている。郷土の偉人を、市民や青

少年に広く知ってもらいたい」と、今後の活動に熱意を燃やしていました。同会では随時会員を募集しています。

二階堂トクヨ

明治13年12月5日、現在の大崎市三本木桑折に生まれる。大正11年、日本女子体育大学の前身となる「二階堂体操塾」を創立し、多くの選手や指導者を育成・輩出した。

**●田尻発　地域の芸能人が大集結**

12月3日、田尻文化センターを会場に、沼部ふるさと芸能まつりが行われ、田尻地域の沼部地区各行政区の皆さんが、この日のために磨いた自慢の芸を披露し合いました。

　踊りあり、カラオケあり、楽器演奏ありの多彩なステージは立ち見が出るほどの盛況ぶり。出演者の皆さんは、それぞれ揃いの衣装で、ときに情熱的に、ときに優雅に観客を魅了していました。

**●古川発　毛女沼2000本桜の会が「環境大臣表彰」と「国土交通大臣表彰」を受賞**

2000年から化女沼での桜の植樹を続ける「化女沼2000本桜の会」が、「地域環境美化功績者表彰（環境大臣表彰）」と「水資源功労者表彰（国土交通大臣表彰）」を受賞しました。それぞれ、桜の木の植樹をはじめ、下刈りや追肥、消毒などの環境保全活動、長年にわたるダム湖周辺の清掃美化活動などの功績が認められ、今回の受賞となりました。

　「西暦2000年を契機に、2000本の桜を植樹して化女沼を桜の名所に育てよう」と発足した同会の植樹した桜は、16年間の活動をとおして目標を大きく超える2700本ほどが植えられています。市の木にも選定された桜が満開になる春を、待ち遠しく感じます。